



ラン 花言葉：美しい淑女、優雅

# 四万十川ニュース Vol.115

中村河川国道事務所 平成29年7月24日

## 「魚のゆりかご」となるコアマモの移植

アカメヤアユの赤ちゃんが育つコアマモ場の再生を目指し、「四万十川自然再生事業(魚のゆりかごづくり事業)」で、四万十川の実崎(さんざき)箇所に人工の入り江(ワンド)を整備しました。6月26日(月)に、地元の八束(やつか)小学校5・6年生14名をこのワンドに招き、環境学習会として、コアマモの移植を行いました。



ワンドとは、川の本流とつながっているが、構造物などに囲まれた池のような地形で、様々な植生が繁茂し、魚類など水生生物の安定した住み処となる静穏な浅場のことです。



コアマモ場の重要性に関する学習

はじめに、中村河川国道事務所が、コアマモ場再生の必要性やワンドの特徴などを、続いて高知大学名誉教授の大野正夫先生と「魚と山の空間生態研究所」の山下慎吾さんが、コアマモの役割や、四万十川やワンドで見られる生き物について説明しました。次に、子どもたちが泥で覆われた川底に足をとられながらも穴を掘ってコアマモを植え付け、流されないように固定していきました。

その後、ワンドの中に生息する生き物の探索も行いました。子どもたちは、生き物の小さな動きも見逃さず、ハサミを上下に動かして「ウェーピング」をする千ゴガニや、普段はなかなか見られない魚を素手で巧みに捕まえては大はしゃぎしていました。

最後に、大野先生が「10年くらい経った時に、この場所が『魚のゆりかご』となっていることが我々の夢。その夢の実現に向けて初めての移植を行いました。今日は四万十川の自然再生における歴史的な日になると思います」と締めくくりました。



移植作業



コアマモ

## 夏の「ツルの自然体験学習会」

6月29日(木)、「四万十つるの里づくりの会」とともに、ツルの飛来が多く見られる中筋川流域で、次世代のツルの守り手育成を目指し体験学習会を開催しました。今年も東中筋小学校と同中学校の子どもたち33名が参加してくれました。

中学校の教室で行った学習会では、「四万十つるの里づくりの会」がツルの特徴や飛来状況、これまでの取り組みを、中村河川国道事務所が「四万十川自然再生事業(ツルの里づくり事業)」の目的や効果を説明しました。

この後、越冬してきたツルのえさとなるよう、「ツルの里づくり事業」で整備した湿地にイネの苗を植える予定でしたが、当日はあいにくの雨で中止になりました。

それでも、参加した子どもたちからは、「ツルを見つけても遠くから見守りたい」「ツルが定着しやすいよう工夫していることがわかった」などの感想が聞かれました。

子どもたちとできなかったえさ場づくりは、後日、「四万十つるの里づくりの会」などの有志で行いました。今年はず山のツルの飛来が見られることを期待しています。



ツルについての学習



えさ場づくり(イネの苗植え)

四万十川に関するお気付きの点や、お問い合わせは中村河川国道事務所 計画課までお願いします。

TEL0880-34-7301

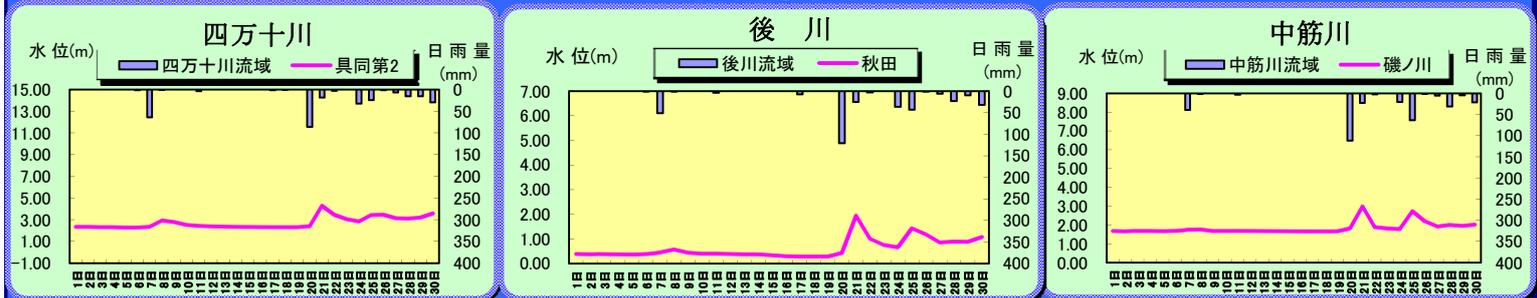
「四万十川ニュース」は、中村河川国道事務所HPにも掲載しています。

<http://www.skr.mlit.go.jp/nakamura/index.html>

# 6月の四万十川の様子



## 雨量・水位データ



### 流域平均雨量(6月)



6月の四万十川流域平均雨量303mmは平年の0.7倍程度の雨量です。  
 なお、過去10年間の平均雨量は422mmです。  
 ※四万十川流域平均雨量について、四万十川流域の雨量観測所(18箇所)が流域に占める支配面積の比率により算出した雨量です。  
 ※測定値は全て速報値です。

### 四万十川の水位・雨量について

- ・水位・雨量情報電話サービス  
(0880-34-7321:3回線)
- ・PCサイト「川の防災情報」  
<http://www.river.go.jp/>
- ・携帯サイト「川の防災情報」  
<http://i.river.go.jp>

